

主の降誕、神の母聖マリアおよび

主日の公開ミサ中止に際して教区よりのお知らせ(抜粋)

2020年12月19日

教区の皆様 大司教 前田万葉

新型コロナウイルス感染症の拡大にともなって、いくつかの小教区で公開ミサの中止の判断をよぎなくされています。それにあたり皆様には以下の点をご理解いただくようお願いいたします。

1. 公開ミサは中止になっても、司祭は個人として捧げるミサにおいて、皆様のために特に祈っています。ミサに与ることができなくても、その恵みが皆様に届いていることを忘れないでください。
2. 公開ミサに与れない場合は、なるべく祈りの時間をとってください。大司教による主の降誕の夜半ミサ(24日19時)のライブ配信を行いますので、それを視聴いただくこともできます。新年のミサの中継も検討中ですので、決まりましたらお知らせいたします。
3. 公開ミサの中止、あるいは継続の決断は、それぞれの場の事情をもっともよく理解している現場の司牧者の判断に任せられています。その判断を安易に批判することは、平和と喜びの季節にふさわしいことではありません。どうか理解し受け入れてください。
4. 地域や場所によって差はありますが、これ以上感染拡大が広がれば医療崩壊を招く恐れがあり、そうなれば市民生活に多大な影響が及ぶこととなります。そのことも考慮し、ミサに与ることができない苦しさを、一日も早い終息のための祈りとしてください。
5. このような理由から、所属する教会の公開ミサが中止の場合、別の教会の公開ミサに与りに行くことは避けてくださるようお願いいたします。

《お願い》 詳細はカトリック大阪大司教区ホームページをご参照ください。